

※小田急線 相模大野駅下車 徒歩10分

【対面開催】 D. H. ロレンスの『チャタレー夫人の恋人』を知っていますか？

大学の憲法の授業で知る「チャタレー裁判（事件）」というものがあります。この裁判では「芸術かワイセツか」ということが争点となったわけで、このことを知っている方は多いかもしれません。ですが、1950年頃にこのような裁判があったということは記憶に残っているものの、『チャタレー夫人の恋人』を読んだ方はいらっしゃいますか？ また、*Lady Chatterley's Lover* をお読みになった方はいらっしゃいますか？ 今回のこの講義では、このイギリス小説のことを知っていただこうと思っています。この小説が猥褻かどうか、ご自身で考えてみてください。それから、じつはチャタレー夫人は「3人いる」のです。このことについて、どのようなことか、そして「3人のあいだに」どのような差異があるのか知りたくはなりませんか？

【受講料】 1,300円**【受講料以外の費用】** なし**【時間・場所・定員】**

- 10:30～12:00
- 7号館711教室
- 定員44名

【その他】

- 教材の特性に鑑みて、日常生活ではあまり使用しない、ほとんど聞くことのないような語彙を使用する可能性があります。映像資料を使用する場合、そこに刺激的なシーンが含まれていることがあります。
- 車でのご来校はご遠慮ください。

【講師】 英語文化コミュニケーション学科 教授
中林 正身**【開講日と内容】** (全2回)

- ① 10月12日(水)
『チャタレー夫人の恋人』はワイセツな小説か？
- ② 10月19日(水)
チャタレー夫人は「3人」いることをご存知ですか？